

令和7年度 第4回理事会

日時：令和7年9月30日（火）：19：00～

場所：Zoom（オンライン）

参加者：理事（磯野、小林、有泉、井村、大西、平賀、鮎川、渡邊、古屋、菊池、鈴木、上田、山下

部長：丸茂、

欠席者：理事：高村 部長：藤原、小林

慶事：0件 弔事：0件

施設数：186施設

会員数：934人 【施設会員881人/在宅会員53人】

休会員数：213人（9月21日現在22.8%）

磯野会長より

- ・今年度も下期に入ります。中間監査にて上期の活動の報告を頂き、報告とします。
- ・協会の秘書の方から、斎藤協会長との意見交換会を実施します。12月17時以降、事務所に参集で対応する。日程を12月の理事会の日12月9日または23日の19時で協会に返答したい。
→12月23日19時から事務所で実施する予定

【審議事項】

1. 医療・介護報酬に関する基礎的研修会開催について：福祉保険局
2. LINE公式アカウント進捗状況と、これからの手順について：事務管理局
3. SupportersのDX化について：事務管理局
4. スポーツ理学療法部部長について：業務推進局 スポーツ理学療法部

【報告事項】

1. リハマップのPDF版掲載について：士会支部局
2. 2025年中西部支部主催症例検討会の開催について：士会支部局
3. 第80回スポーツ理学療法勉強会について・テニス大会について：業務推進局 スポーツ理学療法部
4. 第1・2回学術研修会開催報告：学術局
5. 「RUN伴やまなし2025」参加報告：認知症対策委員会

【事務管理局より】

- ・交流会の参加について：現状報告
- ・関ブロの懇親会の出欠席について：現状報告
- ・中間監査について：10月18日までに9月までの活動のまとめの提出をお願いします。10月の理事会にて審議し、11月11日中間監査（事務所で監事・三役・事務局スタッフで実施）、11月の第6回理事会で承認予定
→財務部より9月までの出納帳をフォルダに入れてください。
- ・会計士について：中山久嶋会計事務所より、年度内で契約終了したいとの申し出があり、現在、後任の会計事務所を探しております。
- ・協会との意見交換会について：斎藤協会長との士会組織運営についての意見交換会の開催依頼が協会より来ております。開催日程の第一候補日12月23日（火）、第二候補日12月9日（火曜日）、会場は事務所になります。開催日についてご意見をいただきたい。上記会長より参照。

【 審 議 】

提出者	水上卓、遠藤勇志	部局名	福祉保険局、医療保険部介護保険部
議 題	医療・介護報酬に関する基礎的研修会開催について		
内 容 および 提出趣旨	医療保険部、介護保険部合同にて毎年実施している研修会となります。社会保険制度に関する基礎的な研修内容とし、診療報酬、介護報酬の各種制度の理解を深め、専門職としての自覚を高めることを目的に行っています。 日 時：令和7年12月17日（水） 19時00分～20時30分 形 式：オンライン形式 テーマ：「基礎から学ぼう！医療・介護保険制度」 講 師：医療保険 剣持 雅尚（恵信梨北リハビリテーション病院） 介護保険 遠藤 勇志（山梨ライフケア・ホーム） 対 象：山梨県理学療法士会員（推奨の経験年数は1～3年目） 費 用：1000円		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	制度関連の研修会の性質上、対象は県士会員のみとし、具体的な質疑応答に対しては、参加申し込み時の事前質問に回答する形式としていきたいと考えています。 また、昨年までは対面形式で行っていましたが、オンライン形式でも可能な研修と判断し、ZOOMでの開催のみとしました。 研修会終了時には参加者にアンケートの実施を予定しています。また、POINT申請は「認定・専門理学療法士更点数 1.5点」、「登録理学療法士更新ポイント 1.5ポイント」（カリキュラムコード区分1-8【医療保険サービスと理学療法】）を予定しています。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	なし		
審議結果	審議（ <u>終了</u> ・継続・保留・付託）		賛否（賛成）
	承認		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間	令和 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 審 議 】

提出者	宇月 正明	部局名	事務管理局 会報部
議 題	LINE 公式アカウント進捗状況と、これからの手順（？がある文をご審議お願いします）		
内 容 および 提出趣旨	進捗状況 「山梨県理学療法士会」の名称でビジネス ID「@483slbqq」を取得。現在、非公開、コミュニケーションプラン（無料）でアイドルリング状態。チャット機能は OFF に設定している。＊公式アカウントには「承認済みアカウント」「未承認アカウント」があり、「承認済みアカウント」のみ「請求書払い」ができる。他士会で公式アカウントを利用しているのは、12。その全てが「承認済みアカウント」を取得している。 「承認済みアカウント」を取得し、「請求書払い」が良いか？法人のクレジットカード決済が良いか？		

	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	今後の手順 ・上記を「公開」後、「お友達申請」URL もしくは QR コードを、LINE WORKKS のトークルームに掲示。部長以上の方に、お友達になっていただく。 ・使用手順の修得や、使用感を得るために短期間（1 ヶ月ほど）上記のまま運営。 ・士会ホームページや会報誌、SNS にて「お友達申請」URL もしくは QR コードを会員に公開運用。 ・「友達」登録数をモニタリングしながら、必要に応じ料金プランをアップグレード（有料） ＊「承認済みアカウント」取得が必要であれば、並行して申請する。		
	提出資料	有	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容など	「承認済みアカウント」取得の流れ。 1 申請フォームに記入、2 審査→申請情報が確認できる web サイトが必要なため士会 HP の URL を記載しても良いか？ 3 本人確認 4 申請結果の案内→連絡の取れるメアドまたは電話番号→山下事務管理局長で良いか？		
審議結果	審議（ <u>終了</u> ・継続・保留・付託）		賛否（賛成）
	・承認済みアカウントで行う。 ・取得の流れについては事務管理局で検討する。		
	対応部局または理事氏名	事務管理局	
	処理期間	令和 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会員） C（一般）

【 審 議 】

提出者	宇月 正明	部局名	事務管理局 会報部
議 題	Supporters の DX 化について		
内 容 および 提出趣旨	令和 7 年度定期総会 第 4 号議案 その他 1) より現在、Supporters の発刊部数は 1 回あたり 1,150 部であり、発送件数は 300 件余りとなっています。印刷費については、現状値上げはありませんが、発送費用は毎年上昇しています。さらに、Supporters No.160 において磯野会長より「SDGs への取り組みを強化していく必要がある」とのお言葉をいただいております、この方針を踏まえても、紙媒体使用による環境負荷や予算面を考慮し、当会としても段階的に DX 化を進める必要があると考えます。 あくまで web 上の情報ですが参考までに、他都道府県士会の状況を確認したところ、完全に会報誌の DX 化を宣言しているのは新潟士会のみであり、法人格の違いにかかわらず、おおよそ半数の士会が DX 化と冊子の併用を行っている状況です。		
	提出資料	無し	別紙 枚 資料番号等

提出者の意見	1) 他団体に際しては、現行通り冊子を発送。(他都道府県士会 46・関連団体 27) 2) 自宅会員に際しても現行通り冊子を発送。(No. 166 では 48 人、変動あり±β) 3) 施設会員には 1 施設に 2 冊を発送。(154 施、設変動あり±α・1 冊は施設長宛) 1) に関して他団体との関係性を鑑み、現状維持を考えております。しかし今後の動向を予測すると、近い将来、先人の新潟県士会の形となることがマストと考えます。 今後ソフトランディングさせるためのシークエンスとして、他都道府県士会の発送から DX 化が望ましいと考えます。その際、メール送信のルールで、10MB を超える容量の送信は、相手の受信場所や受信環境の無配慮とされ禁忌となっています。PDF を添付し送信するとこれにあたります。それに代わり URL を送付し、相手の能動性を要しますが士会 HP へ誘導する手段もあります。 もしこれが承認された場合、次号までは通常発送し、同封する鏡文にその旨を書き足し、次々号からメールでの案内にする予定です。 2) 自宅会員には様々な方がおられます。ICT に不慣れな方がいることも鑑み、会員誰もが会報誌を閲覧できる状態維持を考えます。 3) 物理的冊子を各施設に 1 冊発送。鏡文には QR コード、メーリングリストから URL 添付してもらい、多くの会員はこちらからみていただくようになります。 また慣例により、施設会員送付の場合、施設長にもご校閲していただくため、会員数+1 冊多く発送しています。この慣例の廃止の是非も審議していただきたいです。 仮に承認されたと仮定し、以上のことをまとめますと、 ・次号 (No. 167 号) まで、現行通りに発刊。他都道府県士会・施設会員へ鏡文にて、それぞれ 1) 3) となる旨を記す。 ・次々号 (No. 168 号)、発行部数 $225 \pm \alpha \pm \beta$ ro $379 \pm 2\alpha \pm \beta$ 部 (関連団体 27・施設会員 $154 \pm \alpha$ or $308 \pm 2\alpha$ ・自宅会員 $44 \pm \beta$)、他都道府県士会長・施設会員士会へは、HP に PDF 掲載後、メールにてそちらへ誘導。		
	提出資料	無し	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容など	特になし		
審議結果	審議 (終了・継続・保留・付託)		賛否 (賛成)
	・次次号ではなく次号から行う。 ・施設長への発送はなし、自宅会員についても次号は送るが次次号では自宅会員もなくなことを伝える。 ・最終的にはすべて冊子はなしで行う方向で検討していく。		
	対応部局または理事氏名	事務管理局 会報部	
	処理期間	令和 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A (部長・委員長・代議員)	B (会 員)	C (一 般)

【 審 議 】

提出者	小林 幸一郎	部局名	業務推進局 スポーツ理学療法部
議 題	スポーツ理学療法部部長について		
内 容 および 提出趣旨	スポーツ理学療法部部長交代(小林幸一郎⇒森田伸也)を検討。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	現在、スポーツ理学療法部部長は小林幸一郎が行っているが、体調不良のため活動の継続困難のため、年度途中ではあるが現副部長である森田伸哉に変更し活動を行っていきたいがい		

	がでしょうか。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など			
審議結果	審議(<u>終了</u> ・継続・保留・付託)		賛否(賛成 反対)
	承認		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間	令和 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会・三役会・部局会議	
公開度	A(部長・委員長・代議員)	B(会 員)	C(一 般)

【 報 告 】

提出者	平賀 篤	部局名	士会支部局
議 題	リハマップの PDF 版掲載について		
内 容 および 提出趣旨	士会支部局の 2024 年度事業として実施したリハマップについて、正誤修正を行った PDF 版を士会 HP のバナーに掲載いたしました。今後は 2 か月に 1 回程度の頻度で依頼のあった修正事項を更新していく予定です。 正誤表と PDF 版の案内書類は各施設に 10 月上旬を目途に配布する予定としております。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見			
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし		
結果	報告の通り		
公開度	A(部長・委員長・代議員)	B(会 員)	C(一 般)

【 報 告 】

提出者	平賀篤	部局名	士会支部局
議 題	2025 年中西部支部主催症例検討会の開催について		
内 容 および 提出趣旨	士会支部主催の症例検討会を以下日程で調整しております。 ＜中西部支部＞ 若手スタートアップのための症例検討会 第 1 回:2025 年 12 月 3 日(水)19 時～20 時(発表登録締切:2025 年 10 月 14 日) 発表者の応募がなかった場合延期		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	本来審議事項で事前に提出すべきでしたが、公募時期と理事会会期が合わなかったため事前に三役会で承認をいただき広報致しました。申し訳ございません。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし		

結果	報告の通り		
公開度	A(部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B(会 員)	C(一 般)

【 報 告 】

提出者	小林 幸一郎	部局名	スポーツ理学療法部
議 題	1) 第 80 回スポーツ理学療法勉強会について 2) テニス大会について		
内 容 および 提出趣旨	1)開催日：令和 7 年 9 月 3 日（火） 開催場所：19:00～21:00 ZOOM（ウェビナー）で開催 テーマ：「脳震盪について学ぶ～基礎知識から実際の対応～」 講師：Remedy Conditioning 代表 カナダ公認理学療法士 中本真也氏 参加者：41 人 2) マスターズテニス大会 令和 7 年 10 月 10 日（金）～10 月 17 日（金） クラブヴェルデ（北杜市）		
	提出資料	無・有	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	1) 今回はスポーツ現場での対応で重要な脳震盪について概論から評価法、現場での対応や注意点について詳細にご講義いただいた。学生や医師、スポーツ指導者、また理学療法士の参加者にも現場で活動している者からの参加もあり貴重な話を聞くことができた。 2) 例年同様に依頼あり。テニス大会に向けて準備を進めている。		
	提出資料	無・有	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	特になし		
結果	報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (会 員)	C (一 般)

【 報 告 】

提出者	小林 裕司	部局名	学術研修部
議 題	2025 年度第 1 回学術研修会開催報告		
内 容 および 提出趣旨	第 1 回学術研修会 日程：2025 年 8 月 6 日(水)、20 日(水)19:00～20:30 開催形式：オンライン 講師：山田 実先生（筑波大学 人間系 教授） テーマ：健康寿命延伸のための介護予防における理学療法の取り組み 受講費用：県士会員 1000 円、県外会員・非会員 2000 円、学生無料 参加者：8 月 6 日 51 名（県内会員 32 名、県外会員 19 名） 8 月 20 日 44 名（県内会員 30 名、県外会員 14 名）		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等

提出者の意見	2025 年度第 1 回学術研修会は平日夜間 2 日に分けて、「健康寿命延伸のための介護予防における理学療法取り組み」というテーマで、筑波大学 人間系 教授 山田 実先生にご講演いただいた。前半では健康寿命の延伸のために身体機能の低下を緩やかにすること、そのためには筋力強化が大事であること、後半では活動量を維持することが重要であり、活動量があがると転倒リスクが増えるため転倒予防を図る必要であることをご教授いただいた。大変分かりやすい講義で、健康寿命延伸のための介護予防に向けて取り組むべき内容を理解でき、日々の臨床に繋がる有意義な研修会であった。 当研修会より、参加申込方法に日本理学療法士協会のシステムを用いた。非会員は以前同様に google フォームでの申し込みであったため、会員の方がそのフォームにて申し込まれるケースがあった。会員の方は協会システムから申し込みを行っていただくよう、案内を分かりやすくしていきたい。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容など	特になし		
結果	報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (会 員)	C (一 般)

【 報 告 】

提出者	小林 裕司	部局名	学術研修部
議 題	2025 年度第 2 回学術研修会開催報告		
内 容 および 提出趣旨	第 2 回学術研修会 日程：2025 年 8 月 31 日(日)10:00～16:00（休憩 1 時間を含む） 会場：健康科学大学（対面形式） 講師：松村将司先生（杏林大学 保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 講師） テーマ：頭頸部痛に対する徒手療法 受講費用：県士会員 1000 円、県外会員・非会員 2000 円、学生無料 参加者：24 名（県士会員 23 名、非会員 1 名）		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	2025 年度第 2 回学術研修会は「頭頸部痛に対する徒手療法」をテーマとして、杏林大学 保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 講師 松村 将司 先生にご講演いただいた。今回の研修会は、座学での診療ガイドラインの紹介やエビデンスに基づく知識の紹介だけでなく、頸部周囲の触察や特異的な検査方法の紹介と実演、頸椎および胸椎を中心とした評価と具体的な治療介入などの実技を重視した内容でご教授いただいた。 参加者のアンケートでは、全員が内容に「大変良かった」との回答し、特に「実技が豊富であったこと、メカニズムから治療介入まで臨床に直結する内容だった」という高い評価が多数寄せられた。また、「再度、松村将司先生に研修会を開催してほしい」という具体的な要望も複数届いていた。 以上のことより、第 2 回研修会が参加者のニーズに十分応える内容であったことがうかがえる。事務局に関しても、事前準備から講習会終了まで滞りなく運営を行った。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容	特になし		

など			
結果	報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (会 員)	C (一 般)

【 報 告 】

提出者	清水 真治		部局名	認知症対策委員会	
議 題	「RUN 伴やまなし 2025」参加報告				
内 容 および 提出趣旨	9 月 23 日（火）7：15～16：00 イオンモール甲府昭和 さくら広場 にて「RUN 伴やまなし 2025」のイベントに部員 5 名と参加しました。山梨県理学療法士会では、展示ブース、ロコモチェック、グッズ配布、10 分間ほどの団体 PR (9 団体) 紹介を行いました。				
	提 出 資 料	無	別紙 枚	資料番号等	
提出者の意見	ロコモチェックは 47 名の方に参加いただき、エコバッグなどのグッズを 100 個配布しました。7 歳のお子さんから 90 歳の方まで、幅広い年代の方にチェックを受けていただき、理学療法についての啓発や運動に関する相談もたくさんいただきました。 グッズや旗、ビブスは広報部から提供していただき、おかげさまで広報活動もスムーズに進めることができました。ありがとうございました。				
	提出資 料	無	別紙 枚	資料番号等	
主な意見内容 など	部員 5 名で対応したことで、休憩時間もとれ余裕をもってイベント活動を行えた。				
結果	   				
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員）		C（一 般）

<学校保健関連の会議について>

10月19日の2時間半 高村副会長対応、聴講：子供福祉部の部員1名参加。

<関ブロについて>

参加者328名、ご寄付について施設長あてに電話をしているので声掛けを行ってください。

参加者が800名は集まると良い。